

＜全国「緊急」シンポジウム＞今後の医療的ケアを考える 「医療的ケア」の消滅?! 在宅で「いきる」支援はどうなる?

安倍政権になって、これまでの自公路線の医療・福祉施策に戻りつつあります。

「医療的ケア」の違法性阻却から一部法制化 1 年、福祉に医療を取り込むが、福祉予算の増額はなく、病院医療から在宅医療へという「お金がかからない」市場原理で、長期重症者の追い出し策が少しずつ見えてきています。

「医療的ケア」の「職業化」で超重症児の生活の質が保障されるのか? 安全、安心な地域での連携をどうつくっていくか、一緒に考えましょう。

☆日時: **6月16日(日)10:00~16:30** -----

☆場所: **コープ.イン.京都** *参加費=会員 500 円・非会員 1000 円

〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル TEL: 075-256-6600

- ・基調講演=杉本健郎/NPO 法人 医療的ケアネット理事長
- ・講演①千葉から東京へ、訪問診療からみえる超重症児者の地域支援の課題
前田浩利/子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田
- ・講演②北海道の超重症児者のマッピングとそこから見える今後の課題
平元東/北海道旭川療育園園長
- ・講演③地域の訪問看護・福祉からみた超重症児者支援の課題
李国本修慈/NPO 法人地域生活を考えよーかい
- ・講演④学校での「医療的ケア」の歴史と現状、そして今後
下川和洋/NPO 法人 地域ケアさぼーと研究所
- ・フロア発言を交えたシンポジウム/コーディネーター=杉本健郎

*肩書きは現在ご本人に確認中です。

＜議論の主なポイント＞-----

1. 特定研修の全国的な「遅延」は全く改善されないまま。新介護福祉士誕生を待っているのか!
2. 看護師報酬が上がるということではない。看護師の研修も課題。
3. 「医療的ケア」児者が地域に増えるとして、家族の高齢化が進むなかで、地域にどんな仕組みが必要か? ケアホームか? 短期入所はどうなる?
4. 在宅支援の格差拡大、階層化にならないか。各地域の大きな格差がさらに広がる。
5. 介護保険制度と自立支援制度、そして医療保険制度の関係性について。
6. 重症児の教育の現状と医療的ケア——造語「医療的ケア」は抹殺される? 学校の医務室化にはならないか。

-----◎助成:公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

-----*16時30分より NPO 法人医療的ケアネット 2013 年度総会を開催-----